

2/12
(月)

STEAM 教育親子体験講座

親子で学ぶプログラミング

2月12日、令和5年度STEAM教育親子体験講座が町文化ホールで行われ、町内の児童・生徒13人と保護者が参加しました。

講師に久留米大学商学部の木下和也教授と同大学の学生サークル「team.csv」11人を招き、児童・生徒を対象としたパソコンを使ったプログラミング教育体験講座を実施。参加者がドローンの飛行ルートを自分でプログラム入力し、そのドローンが室内を自動で飛行する様子に歓声が上がりました。

プログラミング通りにドローンが自動飛行



参加した野中圭太郎君（城川内小4年）は、「自分でプログラミングしたドローンが自動飛行していくのがとても興味深くて楽しかった」と目を輝かせました。

2/14
(水)

鷹巣小学校林業体験教室

森林の役割を学ぼう

2月14日、鷹巣小学校（田畠正英校長・195人）の5年生32人が川床の森林で林業体験教室を行い、スギの苗約100本を植え付けました。この日は、北薩森林組合や地元林業事業者などが講師を務め、児童らは樹木が二酸化炭素を吸収し地球環境保護に役立っていることや、木が木材になるまで約50年の年月を費やすことなどを学び、約300平方^{やまくわ}元の山の斜面に山鋸などの道具を使って穴を掘り、苗木を植え付けました。

宮崎新^{わか}さんは「植樹体験は楽しそうと思っていたが

友だちと力を合わせて植樹作業



実際に穴掘りや植え付けが大変だった。今後は環境に配慮した行動をしていきたい」と振り返りました。

2/24
(土)

三県U-12地区選抜サッカー大会

三県架橋構想を推進

2月24日から25日の2日間、阿久根市総合運動公園陸上競技場で、「三県U-12地区選抜サッカー大会」が行われました。この大会は、サッカーを通じて長崎・熊本・鹿児島^{りゅうせい}の三県がパスをつなぎ合い島原・天草・長島架橋や九州西岸軸構想の推進をアピールすることを目的としています。

大会には、熊本県・長崎県から各2チーム、鹿児島県から4チームの計8チーム、127人の選手が参加しました。

開会式では、阿久根市の西平良将市長が「平成9年度から開催されている本大会。皆さんの力強いプレーで切磋琢磨し、親睦を深めてほしい」とあいさつし、選手を代表して、本町の上竜盛君（鷹巣小6年）が「大会を通じて三県架橋が少しでも実現に近づいてほしい。開催できることに感謝し、精一杯プレーすることを誓います」と力強く宣誓しました。

式後、選手たちは交流試合に臨み、元気いっぱいのプレーに観客席からは歓声飛び交っていました。

選手宣誓を行う上選手



はつらつとプレーする選手たち

